

1 1 教育環境整備

評価内容	教員	保護	児童
□学校内はきちんと整備されていて、教育を行う場としてふさわしい。	2. 7	3. 2	2. 9
■学校の中はきちんとして、気持ちよくすごせる。	2. 8	3. 2	3. 0

III 評価結果の分析

教職員	あいさつの習慣や身の回りの整頓やなどの、基本的な生活習慣が定着できていないと感じている回答が多い。他の項目は、ほぼ良好である。
児童・生徒	家庭での学習習慣が十分に定着しきっていないと感じられる回答が多い。他の項目は、ほぼ良好である。
保護者	あいさつの習慣や身の回りの整頓やなどの、基本的な生活習慣が定着できていないと感じている回答が多い。他の項目は、ほぼ良好である。
学校関係者評価委員より	基本的な生活習慣の育成、家庭での学習習慣の育成が課題となっていると感じる。取組が形式的にならないように、これまでの指導を一度見直すとともに、保護者を巻き込んでいくような方策を追究してはどうか。校舎の老朽化が進み、あちこちで傷みが目立つので、できるところから補修・改修を望む。

IV 次年度に対する取組・改善策

<教育課程・学習指導について>

- よりよい「家庭学習がんばりカード」を開発するなど、家庭学習を推進するような支援を継続して進めていく。自主的な学習態度の育成に向けて、家庭と連携しながら、指導を進めていきたい。

<進路指導について>

- 子供たちが将来の夢を語れるように、道徳や学活の授業・教育相談の進め方等を工夫していきたい。現在行っている、外部講師の指導やボランティア体験学習、社会見学、地域探検などを充実させ、子供たちがさまざまな人々とふれあう機会を大切にしていきたい。

<生徒指導について>

- 自主的な生活態度の育成に向けて、家庭と連携しながら、指導を進めていきたい。今年度から始めた「ありがとうカード」の取組を核として、「ありがとう」「ごめんなさい」などの素直な気持ちが持てるような指導をしていく。さらに、これまで行ってきた「あいさつ運動」も進め方を工夫するなど、豊かな心の育成に努めていきたい。

<健康管理について>

- インフルエンザ対策に重点を置いて指導してきたが、家庭の理解・協力も十分に得られた。今後も、学校と家庭の連携を密にしながら、対応していきたい。